

緊急事態宣言に伴う『追加感染対策要項』

加盟校の皆さまへ

2021年5月1日

感染対策委員会リーダー 金井毅

感染対策委員会一同

前略、平素より本連盟の運営にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

4月24日より緊急事態宣言が再発令されましたが、本連盟ではPCR検査実施並びに感染対策をしっかりと行った上で、競技開催することと致しました。

つきましては、ガイドライン遵守を前提に、昨年度開催された対抗戦時に見受けられた懸念点、危険行為に対する警鐘と、追加となる感染対策を下記の通りお伝えさせていただきますので、ご一読並びに遵守の徹底をお願い申し上げます。

はじめに

本連盟の感染対策ガイドラインは、感染ゼロを達成する為に作られたものであります。しかしながら、その内容において、感染する確率が極めて低い状況については、総合的に判断し、多少許容している部分も在ります(3段階のトリプルガードシステムで段階的に防ぐという意味です)。

今回の緊急事態宣言下では、最も効果が期待される競技14日前の水際対策において、上記の多少許容している部分を さらに引き締め、行動制限させて頂き、感染対策を強化させて頂きます。

以下が競技14日前の「**追加感染対策**」です。

その概念は、「**ウイルスを浴びない**」「**ウイルスを手で顔に運ばない**」のシンプルな2点です。

①同居者以外と飲食を一切 共にしない。また可能な限り、全ての人とのソーシャルディスタンスを保ち、接触を避ける。(各自一人での飲食が感染対策の基本形です)

*同居者とは一緒に暮らしている家族は勿論、寮などで複数人数にて同部屋で暮らす人も含まれる。その同居者にも同様の行動規範を徹底して頂くことが大切。なお、濃厚接触と認定されるような生活スタイルは全て同居者扱いとします。

②同居者以外の方と会話する場合は、常にマスクを着用し、ソーシャルディスタンスをとる。

③携帯の消毒グッズを常に持ち歩き、速やかに手指消毒を行う。

また、昨年度の対抗戦開催時に多く見られた危険行為やその他の懸念点についても下記に挙げさせていただきますので、遵守の程、宜しくお願い致します。

1, 陰性判定後の気の緩みにご注意ください→陰性判定は決して絶対ではありません。

*先だって PCR 検査を実施した他団体のゴルフ競技にて、陰性判定者が試合中に発熱、感染が発覚し、その日の競技が中止となった実例もございます。判定後もガイドラインに従い、自制的に行動されて下さい。

2, 競技会場入場時、マスク着用とソーシャルディスタンスを保ち、静かに整列し、順番に検温と体調管理チェックシート提出を行なって下さい。

3, アテスト時、マスク着用と手指消毒を必ず行った上で、アテスト会場にいらして下さい。二日連続で注意を受け、反省の意がない選手は、退場勧告させていただきます。

4, 試合前、試合後の円陣とエール掛け声は厳禁とします。また記念の写真撮影をする際は、ソーシャルディスタンスを保ち、マスク着用にてお願い致します。

以上です。

「ここまでやるのか?!」というご意見もあるかと思いますが、ここまでやることで、緊急事態宣言下でも、安心安全な競技運営に結びつけたいと思っております。

今回、緊急事態宣言下での開催が可能としているのは、第 1 版感染ガイドライン下での昨年秋の競技実績（競技会場での感染者ゼロ）が顕在し、エビデンスに基づいた開催であることをご理解下さい。今春の対抗戦での実績が、今後の競技開催の基準に大きく影響することを重々ご理解して頂き、行動して頂ければ幸いです。

また、刻々と変化する感染状況ゆえ、その状況によっては、当委員会から適宜、追加情報を発信させて頂く場合があることをご承知おき下さい。

ガイドラインの遵守はもちろん、こちらに挙げた点にも細心の注意を払って頂き、無事、競技開催ができるよう ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。